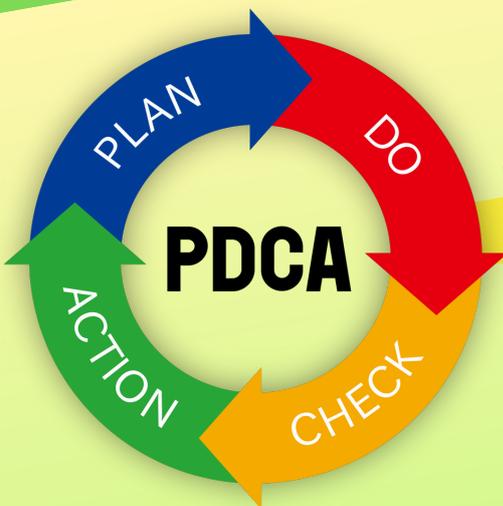


現場で奮闘する仲間たちと一緒に考え走ろう！

経験豊富なメンター陣が丁寧に寄り添います！



地域福祉関係職員が 目指す姿を描き進むための テーマ型研修

- ★行政と共に学び課題や目標を共有できて良かった！
 - ★ロジックモデルにより不十分な部分が把握しやすかった！
 - ★地域の実情に合わせた支援が必要だと改めて感じました！
- ※昨年度の同講師陣等による福祉関係者向け研修会のアンケートより抜粋



こんな悩みにもアプローチ！

参加費
無料

自立支援型地域ケア会議ってどうやるの？

現状把握や真因分析ってどうすればいい？

業務に追われ進むべき方向が見えない…

2025年

7月-2月

全6回+成果報告会

※第1回：9時半-15時半 第2回：9時半-16時半
第3-6回：9時半-16時 成果報告会：13時-16時

※募集市町村：8市町村

※7月-12月まで月1回の研修、2月に成果報告会を行う。原則オンライン開催
(8月のみ集合研修)

問合せ先 山形県生涯学習文化財団 学習振興部 テーマ型研修担当

TEL 023-625-6411 FAX 023-625-6415

MAIL yama@gakushubunka.jp

お申込み

はこちら⇒

主催：山形県 実施団体：公益財団法人山形県生涯学習文化財団



1

7月8日（火） 講義×講義

戦略的かつ目標達成を加速するニーズ調査とデータ活用

生活支援体制整備事業を戦略的に展開し、地域の目指す姿を実現するために、データを活用した現状把握の方法やPDCAサイクル、評価指標の考え方などについて講義します。

重要回！
集合研修

2

8月1日（金） 講義×グループワーク

協議体活用とその運営を学び進むべき道を描こう

協議体における多様な主体間の情報共有、連携・協働による体制整備等の手法を検討しながら、課題解決にむけた目標設定、現状把握、真因分析、評価、改善等にむけた計画を作成します。

実践
検討

3

9月3日（水） 講義×メンタリング

支え合いの地域づくりに必要な仕組みと取り組み

支え合いの地域づくりを実現するために、多様な主体が協力し合う仕組みとは？それによる具体的な取り組みとは？を考えてみましょう。

実践
検討

4

10月15日（水） メンタリング×体験

課題解決にむけた自立支援型地域ケア会議を体験！

生活支援コーディネーターの参加が不可欠とされる自立支援型の地域ケア会議について、その意義や検討プロセスを学ぶとともに、模擬会議（協力 戸沢村）を体験し、自市町村での実践の参考にします。

実践
検討

5

11月5日（水） 講義×メンタリング

暮らしの選択肢を広げる生活支援ボランティアの育成

実際にニーズの解決に携わるボランティアに必要な視点や、育成する側の生活支援コーディネーターが備えておきたいポイントについて、事例を通じて参加者同士で学び合います。

実践
検討

6

12月10日（水） 講義×メンタリング

暮らしの豊かさを広げる移動支援の仕組みや手法

通院や買い物、居場所等への移動支援について、事例を交え、仕組みづくり、関係法制度、創出に向けた伴走の仕方などを学びます。

実践
検討

成果報告会

2月18日（水） 成果報告会

私たちはどんな夢のある地域を目指して進んだか

研修における学びを振り返るとともに、これから進んでいく方向性や課題を定め、参加者間で共有しましょう！

参加要件

- 参加者は、組織として現状を改善するための何らかの取り組みを進めていきたいという意思があり、2名以上のチーム（市町村職員がチームの代表となること）で申し込むことが望ましい。可能な限りリアルタイムでの全回参加が望ましい。（参加できない回は録画映像視聴可）
- チーム参加がかなわず個人聴講を希望する場合、講義及び成果報告会の聴講可（同じ申込フォームで申込み）

研修の進め方

- 第2回はロジックモデルを作る重要な回です。必ずご参加ください。
- 第2回以降、各回終了後から次回まで約1か月間で、チームで通常業務として可能な範囲で、現場で実践と検討（調べる、出向く、話を聞く、チームで話し合う等）を行います。第3回以降、メンタリングでは、参加市町村ごと（約40分）に、メンターから、実践と検討の進捗報告を受けてのアドバイス、情報共有を行います。他市町村のメンタリングも、とても勉強になります。（自市町村のメンタリング時間外の中座・退室も可能）
- 第2回以降、現場での実践等で悩みや課題が生じた時はいつでも個別相談が可能です。

経験豊富な講師・メンター陣

●服部真治氏

(株)日本能率協会総合研究所福祉・医療・労働政策研究部主幹研究員。地域包括ケアシステム、特に生活支援と介護予防の研究や市町村支援を行う。

●西田和正氏

同所同部介護保険市町村支援チーム。病院等でリハビリテーション業務に従事後、研究所や政府系シンクタンクにて市町村の介護予防・日常生活支援制度等の制度構築の支援や介護予防の研究に従事。

●中村美那子氏

同所同部介護保険市町村支援チーム。居場所づくりや移動支援による住民主体の活動支援に取り組んできた経験を活かし市町村やSCの支援業務等を行う。

●伊藤みどり氏

同所同部介護保険市町村支援チーム。NPO法人全国移動サービスネットワーク事務局長。住民主体の移動支援に関する市町村支援等を行う。

●高橋由和氏

NPO法人きらりよしまネットワーク理事。地域づくりのシステムを根本から見直し、丁寧な住民説明やワークショップによる合意形成を経て、地域を経営する全世帯加入のNPO法人を設立、持続可能なまちづくりに挑んでいる。